

水 稲（除 草） 効果安定・薬害防止のため、田んぼの均平化を心掛け、代かき・植え付けは丁寧に行いましょう。

【令和7年1月1日現在の農業登録内容】2025版

使用 体系	農 薬 名	区 分	使用量	使用時期	使用 回数
一 発 剤	トップガンR1キロ粒剤		1kg/10a	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1回
	湛水散布。一年生雑草から多年生雑草まで幅広く効果を示す。また、SU抵抗性雑草にも有効。				
	バッチリLX1キロ粒剤		1kg/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	1回
	湛水散布。田植え同時散布可能。 効果の発現が非常に速く長期間持続。SU抵抗性雑草や多年生難防除雑草にも有効。				
	カチボシ1キロ粒剤51		1kg/10a	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	1回
	湛水散布。田植同時処理が可能で、ノビエに対して長期残効性を示す。				
	サキガケ薬粒		250g/10a	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植 後30日まで	1回
初 期 剤	湛水散布。湛水周縁散布、水口施用。拡散性製剤のため、水田に入らずに散布でき労力軽減になる。ノビエに長期残効を示し、広葉雑草等にも有効。但し、散布時はやや深め（水深5～6cm）の湛水状態を保って散布し、散布後少なくとも3～4日は通常の湛水状態（3～4cm）を保ちましょう。				
	メテオ1キロ粒剤		1kg/10a	植代後～移植前7日又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し移植後30日まで	2回
	湛水散布。移植前散布の場合は、植代後土が落ち着いてから散布する。				
中 期 剤	ツイゲキ1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日（イネ5葉期以降）～ノビ エ4葉期 但し、収穫60日前まで	1回
	湛水散布。ノビエ、一年生雑草、多年生雑草など幅広い雑草に効果があります。花茎が抽出したホタルイ（※効果安定のため草丈15cmまでに使用）や生育ステージの進んだクログワイやオモダカにも有効。				
	ヒエクツパエース1キロ粒剤		1kg/10a	移植後14日～ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	2回
後 期 剤	湛水散布。ノビエに高い効果を示す。				
	バサグラン粒剤（ナトリウム塩）		3～4kg/10a	移植後15日～収穫45日前まで	1回
	落水散布または、ごく浅く湛水して散布。雑草発生部分のみに散布も可（1㎡3g）。ノビエには効果がない。				
そ の 他	クリンチャーバスME液剤		1000mℓ/10a 希釈水量（70～100ℓ/10a）	移植後15日～ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	2回
	落水散布または、ごく浅く湛水散布。				
	ヒエクリーン1キロ粒剤		1kg/10a	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	1回
	湛水散布。ノビエに高い効果を示す。散布時期を逸しないようにする。				
	モゲトン粒剤		2～3kg/10a	発生始～発生盛期 但し、収穫45日前まで	3回
倒 伏 軽 減 剤	ウキクサ類、藻類（アオミドロ、アミミドロ）に効果がある。				
	ロイヤント乳剤		200mℓ/10a 希釈水量（25～100ℓ/10a）	移植後20日～ノビエ5葉期（但し、収 穫45日前まで）	2回
	落水散布またはごく浅く湛水して散布。散布2時間後の雨でも効果を発揮する。5葉期のノビエと大きな広葉雑草、イボクサ、クサネムなどに優れた効果がある。（ホタルイ、クログワイには効果が劣るので、それらが混在する圃場では有効な除草剤と組み合わせて使用する。）				

体系処理について

中期以降に雑草が残る水田においては、体系処理を行う。 体系処理例 メテオ1キロ粒剤 → ワイドアタックD1キロ粒剤

倒伏 軽減剤	スマレクト粒剤		2～3kg/10a	出穂7～20日前、湛水散布	1回
水田の後作に野菜を作付しない。					

本田への粒剤散布の場合は、掛け流し状態を避け、7日間止め水にして湛水状態を保つ。

「農薬の使用は、使用基準を確認し、周りの他作物に農薬が飛散しないようにすること」